

千住消防団 だより



第79号

編集・発行
千住消防団編集委員会
印刷：小竹印刷株式会社

足立区内消防団合同点検を実施

令和6年9月22日(日)14時00分から15時30分まで、荒川右岸河川敷大川町緑地自由広場(足立区千住大川町32番先)において、令和6年度足立区内消

防団合同点検が実施されました。

当日は足立区内3消防団約700名が参加し、点検者である消防総監の代理として防災部長を迎え、消防団長に



による部隊検閲及び首都直下型地震の発生を想定した消防活動演技を実施しました。

び機械部隊の行進が行われ、礼節を重んじ、規律正しい消防団員の姿を確認することができました。



消防活動演技では、発災直後の参集に始まり、消防団員によるタブレット端末を活用した被害状況の確認や住民と連携したバケツリレー等初期消火活動を実施しました。

その後、中学生消火隊とともに可搬ポンプによる消火活動を実施、災害時支援ボランティアと連携した怪我人に対する応急救護活動を展開

し、倒壊家屋の下敷きになった住民を救出するために、チェーンソーを活用し、木材の切断や事故車両の窓を實際に破壊するなど、実戦により近づいた訓練を実施しました。

最後に合流火災となった大規模火災に対して、足立区内3団が連携し延焼阻止線を設定し、一斉放水で消防活動演技は終了しました。

第52回東京都消防操法大会の実施結果

令和6年10月26日(土)、渋谷区にある東京消防庁消防学校の校庭において、第52回東京都消防操法大会が開催されました。

六方面支部を代表して日本堤消防団及び荒川消防団が可搬ポンプ操法の部に参加され、荒川消防団が第三位という成績を残しました。

令和7年度の第53回東京都消防操法大会には、千住消防団が可搬ポンプ操

法の部に出場予定となっております。

例年5月に行われている千住消防団操法大会の優勝分団が東京都消防操法大会に出場することになりますが、都大会で優勝を目指すためには、日頃の訓練と体調管理、可搬ポンプの点検整備が大切になります。

各分団は、より良い成績を残すために、分団長指揮のもと、日頃の訓練で研鑽を重ね技術の向上を図っています。





千住消防団管内の町会等による祭礼が9月中旬に各所で行われました。特に9月14日(土)の宵宮祭には、多

例祭警戒を実施



数の参加者や見学者が集まり、消防団による救護体制の確保、情報収集等を実施しました。
例祭の期間中に行われた各祭礼においては、多数の人出で賑わう中、巡行する神輿や出店等に対して担当分団ごとに消防特別警戒を実施しました。



ワンポイント教養

各分団にバッテリーテスター配布

10月11日に行われた分団長会議内において、各分団が保有する積載車、可搬ポンプ、発動発電機等に積載しているバッテリーの適正な維持管理を目的に、各分団にバッテリーテスターを配布しました。



～電圧の測り方(可搬ポンプ)～

- ① 可搬ポンプのエンジンを停止させ、プラスに赤、マイナスに黒を接続します。
- ② 可搬ポンプの積載しているバッテリーは12Vなので、12.30V以下を表示した場合は、専用の充電器で充電してください。

～その他の機能～

- ① クランキングテスト：一番負荷がかかる始動時に必要な電圧が保たれるかを測定する機能
- ② 負荷テスト：発電機のベルトの摩耗により駆動部分に負荷がある可能性を判別する機能
- ③ 充電テスト：オルタネーター(発電機の電流を発生させる部分)や発電回路の不具合を判別する機能

分団だより

第2分団 部長 三好 央一郎

長かった残暑も終わり皆様どうお過ごしですか。我が第2分団は今年の夏も例年通り消防団の看板を一旦下ろし千住森林組合として、第2分団本部の広い空き地にはびこる草木に対し草刈り機やチェーンソーを振りました。

空き地は縦3m弱、横20m弱の超細長い形で、隣接する団の駐車スペースとの間に40cm弱のコンクリートブロックの段差があります。消防団の敷地と併せれば50m弱の直線となり、ちょっとした操法訓練に使えそうですが、大きな段差のせいで使い道がありません。

歴史を遡るとこの空き地は地域の方が草木を植える花壇でした。その後何かの拍子で2分団に所属し周りをフェンスで覆い関係者以外出入り出来なくなりました。今では彼岸花がまばらに顔を出す叢です。もしもどなたか偉い方がお読みでしたらこの空き地を、第4分団本部に隣接するプチテラスのように活用出来ないでしょうか。都合が良いことに、もし墨堤通り側のフェンスに扉があれば空き地は10cm強の段差で出入り出来ます。ぜひ公園整備の際にこの空き地もご考慮ください。地域の方も署も団もにっこり喜んでいただけたと思います。

それでは皆様お元気で、秋も深まり草が枯れ第2分団は無事消防団に戻りました。



今年度新入団員の紹介について

◆第1分団 酒井 正志

「消防団員の一人として地域の安全のために尽力します。よろしくお願いします。」

◆第1分団 向坂 涼子

「元氣と笑顔が取り柄です。笑顔を忘れず消防団業務に励んでいきます。」

◆第2分団 清家 和宏

「職業は警備員で趣味はゴルフと読書です。愛読書は中村天風に関する書籍です。特技はゴルフ場でたまに披露する力強い素振りです。地域の安全のために頑張りたいと思いますので、ご指導よろしく願います。」

◆第4分団 加藤 優香

「職業は飲食業をしています。趣味はボルトリングで、特技は目を閉じてまっすぐ歩ける事です。地域の安全のために頑張りたいと思いますので、ご指導よろしく願います。」

◆第4分団 滝石 新也

「職業は法律系の司法書士という仕事をしています。趣味は卓球で、特技は長距離走です。地域の安全に貢献出来るように頑張りますので、ご指導よろしく願います。」

◆第5分団 長尾 紀子

「趣味はお酒を飲む事で、特技は歩くスピードが少し早い事です。この様な年齢での入団ですが皆様のご指導の下、老眼と闘いながら体力維持に努め、一生懸命精進したいと思っていますので、よろしく願います。」

◆第8分団 大根 溪太

「職業は専門学生で趣味は筋トレです。特技は料理をやることです。地域の安全のために頑張りたいと思いますので、ご指導よろしく願います。」

編集後記

第6分団 部長 須永 光

合同点検お疲れ様でした。合同点検も終わり、秋めいてきました。

みなさんは読書の秋?食欲の秋?でしょうか。私は食欲の秋です。

今年もあと2か月になりました。秋の火災予防運動と歳末警戒を残すのみとなりました。

歳末警戒まで頑張っていきましょう。

幹部コラム

第8分団 分団長 渡邊 徳

八月のうだるような暑い日、東京都特別区消防団幹部研修・指揮幹部研修40周年合同懇親会に出席しました。

私が指揮幹部研修に参加したのは、平成28年3月、消防学校での1泊2日の研修でした。思っていた以上に厳しい訓練で、誰一人として知っている団員がいない中、授業が進められ、しんどかった思い出があります。しかし、その晩に班毎のミーティングで皆さんとすっかり打ち解け、消防団員として地域に貢献する方向性は同じなので、時間が過ぎるのも忘れる程、話で盛り上がった記憶があります。

合同懇親会は今回で2回目の出席となり、たった2日間の研修でしたが、こうして会を開催していただくことで千住消防団以外の消防団幹部の方と情報交換ができるということは、大変有意義な事だと改めて感じました。

10月には、2期生だけの同窓会も開催され、出席します。団員の皆様も機会がありましたら是非、指揮幹部研修に申し込んでください。きつと得る物も多いかと思っています。